

11月 21日 **本城地区住民が
認知症への理解を深める**



訓練では最初に「後ろから声をかけない、おだやかにはっきりとした話し方で」など正しい接し方を学んだ後に、声掛け訓練を行いました

本城地区の旧本城中学校体育館で「認知症高齢者等徘徊模擬訓練」が行われました。誰もが安心して暮らせるまちづくりにつなげようと、同地区社会福祉ふれあい推進連絡協議会などが主催となり開催。訓練には地域住民や地元消防団など約130人が参加。6班に分かれて、中学校周辺にいる徘徊者役の認知症高齢者を検索。徘徊者役を見つけると、目線と同じくして優しく声を掛け、名前や年齢、体調などの情報を聞き出し、警察に電話で通報しました。訓練に参加した島田正弘さんは「話を聞き入れてあげながら対応したが、なかなか情報を聞き出すのが難しく、訓練をこなす必要があると感じた」と話していました。

11月 27日 **いこいの里が今年も
美しくライトアップ**

毎年イルミネーションの温かい光に包まれる「串間温泉いこいの里」。今回は約7万球の色とりどりの電飾が施されています。このイルミネーションは地域づくりや福祉・教育、防犯・防災を活動の柱として地域のにぎわい創出などに取り組む今年度結成された「まちづくり協議会『チーム本城』」の方により一つ一つ手作業で装飾されました。点灯初日には点灯式が行われ、上篠原保育園の園児11名がダンスを披露し、その後、同チームの鎌田芳徳会長と同施設の野口健一支配人があいさつ。最後に、カウントダウンに合わせて来場者がパーティークラッカーを一斉に鳴らした後、イルミネーションが点灯されました。年長クラスの谷川琉輝くんは「緊張したけど楽しかった。また見に来たいです」と話していました。



点灯期間は令和4年1月29日までを予定しています

かまだよりのり けんいち

11月 27日 **旧吉松家住宅前市民広場に
竹灯籠の光**



点灯期間は令和4年1月10日までを予定しています

市民の憩いの場となっている旧吉松家住宅前市民広場。宮崎県建築士会串間支部と串間電気工事業協同組合青年部がタッグを組み、2カ月前から準備をして一つ一つ丁寧に作り上げた竹灯籠の温もりある電飾が、広場内を幻想的な光で包んでいます。アーチや、竹灯籠に囲まれた撮影用のベンチコーナーなどがあり、訪れる人を魅了しています。今回の設置にあたり同支部青年部長の川崎宏則さんは「今年で2回目の設置となります。一人一人思いを込めて制作したので、ご家族、ご友人で楽しんでください」と話していました。

11月 5日 **UMKと防災パートナーシップを締結**

本市と株式会社テレビ宮崎は防災パートナーシップ協定の締結調印式を行いました。式には同社代表取締役の寺村明之社長と島田市長が参加。同社はおとし開局50周年を迎えるにあたりCSR活動(企業の社会的責任の一環)として、県内全市町村を対象とした防災パートナーシップ協定の締結を進めており、本市でも災害時の連携はもちろん、平常時の災害予防対策に資する取り組みに対し一層の連携を行うことを目的とし、パートナーシップ協定を締結。調印後、同社の寺村社長は「報道機関としてしっかりと責任と使命を果たしていきたい。持続可能なまちづくりとして、パートナーとして協力して進んでいけたらと思っております」と話していました。



緊急時にはテレビ、ホームページ、アプリなどで情報発信を行う予定

11月 12日 **建設業協会女性部が串間中でボランティア清掃**



丁寧に汚れを拭き上げる部員

串間市建設業協会女性部が、串間中学校でボランティア清掃を行いました。同部は2017年に同中学校で清掃を行っており今回2回目。部員16人が約3時間かけて、図書室などの窓ガラスや棚を新聞紙やぞうきんなどを使って丁寧に汚れを拭き取っていました。谷口直美部長は「子どもたちに喜んでもらえたらうれしい。今後もボランティア清掃を続けていきたい」と話し、平田史土校長は「手が届かない場所まで清掃していただき大変ありがたい」と感謝の言葉を述べていました。

11月 19日 **市木小児童が地域住民と交流**

市木小学校が、地域住民と親睦を深める毎年恒例のイベント「ふれあい交流会」を行いました。校内運動場で行われたグラウンドゴルフには児童、地域の高齢者ら約80人が参加し、5人1組で各ホールを回りスコアを競いました。児童は住民から力加減や真っすぐに打つためのアドバイスなどをもらいながら笑顔でプレーをしていました。6年生の和田悠人くんは「高齢者の方に教えてもらいながら一緒にゴルフができてとても楽しかった」と笑顔で話していました。グラウンドゴルフ終了後は体育館で、コマやけん玉などの昔ながらの遊びを一緒に楽しんでいました。



地域住民とグラウンドゴルフを楽しむ児童たち